

第8回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日 時 2016年2月15日(月) 16:00～18:00

場 所 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第二大会議室

1. ガレキ等及び水処理二次廃棄物の保管・管理状況

東京電力より、福島第一原子力発電所から発生するガレキ等及び水処理二次廃棄物の保管・管理状況について説明があった。

2. 事故廃棄物処理・処分技術の開発(国プロ)の進捗報告

国際廃炉研究開発機構(IRID)より、事故廃棄物処理・処分技術の開発(国プロ)の進捗状況に係る報告があった。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

○スケーリングファクターの使用を目指すなら、事故廃棄物の汚染核種の組成について、ORIGENによる計算値と実際の値との違いを考慮に入れ、スケーリングファクターが使用可能であることを論証できるデータを戦略的に採取・分析していくことが必要である。

○事故廃棄物の汚染核種の組成分布は通常と異なり偏ったものになると推測される。このようなばらついた分布状況でも放射能を評価できる手法・ロジックを開発することが重要である。

3. 固体廃棄物の処理・処分にに関する研究開発の実施計画

NDF事務局より、2016年度の固体廃棄物の処理・処分にに関する研究開発の実施計画を説明した。専門委員からの主な意見は以下の通り。

○現段階から、処理と処分が連携した合理的な研究開発体系を構築しておくことが重要である。

○2年間の研究開発の成果として、現段階でできることに加え、その結果に対して、ある程度の不確実性は残るものの、課題の絞り込み、課題に対する考察・判断を取りまとめる必要がある。

4. 戦略プラン2016 骨子案について

NDF事務局より、戦略プラン2016 骨子案を説明した。

5. その他議題

○次回廃棄物対策専門委員会について

以 上